

科目	地域・在宅看護論Ⅰ（地域・在宅看護の場を知る実習）				
時間数	1 単位 40 時間	授業方法	実習	授業時期	1 年
実習場所	<p>総合福祉施設やすらぎの郷</p> <p>きぼうの苑—介護老人福祉施設・短期入所・通所介護・訪問介護・在宅介護支援センター</p> <p>あゆみ苑—障害者（身体）支援施設（入所・生活介護）・短期入所・訪問介護・移動支援障害者生活支援センター・</p> <p>ケアハウス夢テラス</p> <p>総合福祉館コミュニティハウス三恵</p> <p>多機能型事業所わくわくクラブ— 障害者（知的）の生活介護・放課後等デイサービス</p> <p>新居浜医療福祉生活協同組合</p> <p>中萩診療所と周辺関連施設</p> <p>たかつ診療所と周辺関連施設</p> <p>新田診療所と周辺関連施設</p> <p>愛媛医療生活協同組阿合</p> <p>泉川診療所と周辺関連施設</p>				
ねらい	<p>講義（地域・在宅看護の場と制度）をもとに、生活や支援の場を訪問し、どんな人が利用しているか、居宅（自宅）や施設での生活を続けるために、どのような支援が必要か 等、見聞きする。</p> <p>グループ毎に、出会った人や知り得たことを発表し、学びを共有することができる。</p>				
目標	<p>1. 地域で生活する人に必要な支援（介護・看護・医療・相談事業等）が提供されるく多様な場 > を知る。</p> <p>2. 多様な場やサービスを利用しながら暮らす、生活者であるく看護の対象>を知る。</p> <p>3. 学びを発表し、共有することができる。</p>				
授業計画					
内容	<p>1. 見学実習</p> <p>グループに分かれて、実習場所を訪問する。</p> <p>訪問した場所では、どんな事をしているのか、診療や看護、介護や生活支援についてその場を利用している人や、そこで働く人の思いを聞く。</p> <p>2. グループワーク</p> <p>実際に見聞きしたことと、講義で学んだことを合わせて、地域で生活している人の健康や暮らしを支えるの「場」について、どのような人が、どのような活動をしていたか、利用する人にとって、その「場」は、その湯小名役割を果たしているのか、考える。</p> <p>3. グループ発表</p> <p>互いの学びを発表し、共有する。</p>				
評価方法	在宅看護論実習評価表、適性・態度評価表を総合して評価する				